

平成29年度 第1回鎌ヶ谷市消防委員会会議録

1 開催日時

平成29年7月3日（月）午後2時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

消防本部3階会議室

3 出席者

- | | | |
|---------|-----------------|--------------|
| (1) 委員 | 鈴木定夫委員（委員長） | 長瀬正久委員（副委員長） |
| | 廣部信隆委員 | 篠田利恵委員 |
| | 中村美恵子委員 | 澁谷誠幸委員 |
| (2) 事務局 | 飯田喜治消防団副団長 | 鈴木信彦消防長 |
| | 松本禎久次長（事）消防総務課長 | 矢ノ目健二予防課長 |
| | 佐藤俊一警防課長 | 松下晃通課長補佐 |
| | 川崎大郎主事 | |

4 議題

- | | |
|-----|--------------------|
| 議案1 | 平成29年度事務事業進捗状況について |
| 議案2 | 消防概況について |

5 傍聴者 なし

6 会議の公開 非公開について 公開

7 発言の要旨

- 消防総務課長 平成29年度第1回消防委員会会議開会を宣言した。
消防委員会条例第5条第4項による会議成立を報告、傍聴の申し出がなかったことを報告した。
消防委員会条例第4条により委員長、副委員長の互選をお願いした。
委員長 鈴木委員
副委員長 長瀬委員
- 鈴木委員長 挨拶
長瀬副委員長 挨拶
消防総務課長 消防委員会条例第5条第3項の定めにより委員長が議長を務めることを伝えた。
また、会議録署名人2名の選出をお願いした。
会議署名人 澁谷委員、廣部委員
※任期中は継続
議長へ進行をお願いした。
- 鈴木議長
事務局 議案1平成29年度事務事業進捗状況について説明を求めた。
議案1平成29年度事務事業進捗状況について、消防予算、職員研修、施設等、火災予防、救急救命、消防団について説明した。
- 鈴木議長
予防課長 議案2消防概況について説明を求めた。
警防課長 最近3カ年の火災状況について説明をした。
鈴木議長 最近3カ年の救急出動件数、傷病程度別搬送人員の説明をした。
長瀬委員 各委員に質問を求めた。
資料7 ページに記載されている救急救命推進証交付事業所に幼稚園・保育園が3園ありますが、ほかの市内6園について、交付要件の不足は何かご説明ください。
- 警防課長 はじめに、救急救命推進証交付事業所とは、7ページに記載しております交付要件にございますとおり、AEDを設置し、救命講習修了者が配置されていることなどが主な要件でございます。
ご質問のありました6園のうち、ふじ幼稚園、ふじ第2幼稚園、さくら幼稚園、まるやま保育園につきましては、AEDの設置及び救命講習の受講がございません。
また、さつま幼稚園はAEDが設置されておりますが、救命講習が未受講の状況でございます。
ふじのこ保育園につきましては、定期的に救命講習を受講していただいておりますが、今のところAEDが設置されておられません。
- 長瀬委員 AEDの設置は、自主設置ということでしょうか。
警防課長 設置については、企業努力ということでお願いしております。
救命講習の受講については、働きかけています。
- 廣部委員 AEDの設置について、補助制度があると園への普及に対して良いと考えます。
- 長瀬委員 資料10ページ最近3カ年の救急出動件数の消防署別の出動件数について教えてください。
また、東京都などの大都市では非緊急コールが多く社会問題になっていますが、鎌ヶ谷市の状況について伺います。
- 警防課長 1つ目のご質問の消防署別の救急出動件数でございますが、平成28年中の数値で申し上げますと、中央消防署は、2台体制で3,303件、くぬぎ山消防署916件、鎌ヶ谷消防署1,281件でござい

ます。

2つ目のご質問の非緊急コール、いわゆる救急車の不適切な利用についてでございますが、救急要請時は傷病者にとって一大事で重症と自ら判断し、救急車を要請され、病院での結果が軽症と診断されるケースもあることから、軽症者が非緊急であると判断することは難しい状況でございます。

このことから、救急車を要請する際は、落ち着いて判断していただき、軽い症状の病気や怪我での要請は控えていただくように救急車の適正利用について、市の広報紙及びホームページへの掲載、市民あての消防訓練や救命講習会で呼びかけているところでございます。

澁谷委員

資料9ページの最近3カ年の火災状況についてご質問させていただきます。平成29年5月31日現在で11件の火災が発生しているようですが、その原因はどのようなものか教えてください。

予防課長

平成29年1月1日から5月31日までに発生した火災は11件でございます。そのうち調査中の2件を除いた9件の原因は、火あそび2件、こんろ2件、電灯・電話等の配線2件、放火1件、排気管（車両火災）1件、たばこ1件でございました。

参考としまして、平成28年中に発生した火災で最も多かった原因は、こんろ4件、放火の疑い3件、火あそびと灯火がそれぞれ2件でございます。

火災の発生件数は、昨年とほぼ同じような状況でございますが、引き続き火災予防啓発に努めてまいりたいと考えております。

篠田委員

同じ資料中の建物火災に住宅用火災警報器の効果により、被害が軽減した件数とありますが、火災件数に対して効果があった件数が少ない理由を教えてください。

予防課長

住宅用火災警報器の効果とは、設置していて、かつ、人がいる場合であり、設置していて警報が鳴っても留守である場合もあるため、記載の件数となっております。

鈴木議長

議案3その他について事務局に説明を求めた。

警防課長

消防委員の参加する消防行事（出初式：平成30年1月6日（土））について連絡した。

事務局

平成29年度第2回消防委員会開催の時期について、平成30年2月上旬の予定であり、詳細については別途連絡する旨、連絡した。

鈴木議長

議事を終了した。

消防総務課長

平成29年度第1回消防委員会会議閉会を宣言した。

8 会議録署名人の署名

以上会議経過を記載し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成29年 7月12日

氏名 澁谷 誠幸

氏名 廣部 信隆